

宇部興産中央病院 広報紙

たんぽぽ

tanpopo 2021年8月Vol102号



蓮の花摘み



手外科について

整形外科 部長 橋本 貴弘

近年は医学・医療の専門分野も様々なものへと細分化されてきていることは御存知のことと思います。たくさんありすぎて、よく分からない、という面もおありなのではないでしょうか？今回は、その中の一分野である『手外科』についてご紹介させて頂きたいと思います。

手外科（以前は手の外科と呼ばれていました）は、1957年に学会が発足しました。手は御存知のごとく、5本の指が複雑に動いて様々な動作を可能とし、またその鋭敏な知覚は「第2の目」とも言われるほど高度で重要な役割を果たす器官です。それ故、その構造も骨や関節のみならず、腱や神経なども含めて微細で複雑な構造を有しており、それらの疾患や外傷による障害も多岐に渡り複雑なものであることも少なくありません。

頻度の高い主な疾患は腱鞘炎、指や手首の関節症、手根管症候群に代表される神経障害などで、骨粗鬆症における骨折の一つである橈骨遠位端骨折などをはじめとした骨折も多く見られます。また、手は外傷に晒されやすい部位でもあり、様々な外傷も見られます。特に腱や神経の断裂・損傷については、マイクロサージャリー（手術用の顕微鏡を用いた手術）などの高度な処置が必要となる場合もあります。

また、関節リウマチ、強皮症などを含む膠原病などの全身性疾患の部分症状が手に現れることも少なくなく、あるいは頸椎の異常や脳梗塞などの中枢神経の障害による症状が手から発症する様な場合もあります。このように手に何かしらの症状が見られるようになったときには、その原因が手自体にあるのか、手以外の部位にあるのかを見分ける必要が出てくる場合もあります。

手の診察では、それらを見分け、手や上肢に対する診療を行う、あるいは他の各専門科と連携して診断治療を進めていく必要があります、手外科はそういった疾患や外傷に対する診療と研究に携わる分野であります。

手外科といいますと狭い領域のように感じられるかもしれませんが、『手』は日常生活や仕事、スポーツでの動作に直結しやすい器官でもあります。何か気になることがございましたら、お気軽にご相談ください。



6月から整形外科 橋本貴弘医師担当の金曜日の外来診察は、紹介予約患者のみとなっております





「看護の日」
イベント開催について

看護の日



5月12日（水）「看護の心をみんなの心に～未来に向かって心をひとつに～」

をテーマとし、「看護の日」イベントの規模を縮小して開催しました。



昨年は、開催できなかったため、今年にはコロナ禍でも明るい未来を願って、外来で書道、生け花の展示

や記念品を配布しました。また、入院中の患者さんには、オリジナルマスクケースを配布し、活用していただきました。

皆様から笑顔と労いの言葉を頂き、「看護の心」を知っていただける機会となり嬉しくなりました。



新型コロナワクチン接種について

当院では5月中旬より7月末までに65歳以上のかかりつけの患者さんに対して、約1,800人の方々に新型コロナワクチンの接種を行いました。特に副反応もなくスムーズに実施できました。

ワクチンを接種された方は、ワクチンを接種したあとも引き続き、しっかり感染対策をしていただきますよう、お願いいたします。

早く新型コロナが収束して、元の安心した生活に戻ることを願うばかりです。





広報用ディスプレイの設置について



支払窓口の上部へ広報用ディスプレイを2台設置しました。
このディスプレイは当院から患者さんへ、タイムリーな医療情報やお知らせなど随時更新して提供して参ります。
是非ご覧ください。



きららマガジンに整形外科の森脇透医師の記事が掲載されました



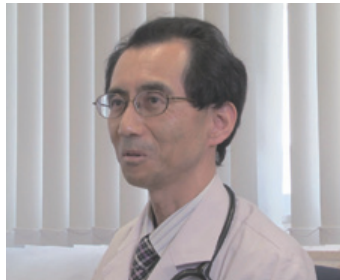
森脇先生は2015年からJ2レノファ山口のサッカーチームのチーフドクターとして、チームのメディカルサポートも行っております。
院内にも冊子をおいておりますので読んでみてください。



ドクターTV 2名医師追加

6月中旬より副院長 井本忍医師と循環器内科診療科長 原田雅彦医師がアップされました。
院内では支払窓口の後方TVで放映しています。

<http://dtv.jpa.com/yamaguchi/>
または、「ドクターTV 山口」で検索！



「フェイスシールド」を寄贈いただきました

県内を中心に関東、九州などで調剤薬局を経営するフラワーズTMS(株) (会長 末廣隆) 様より地域貢献活動の一環として、フェイスシールドを800枚頂きました。

末廣会長は「新型コロナウイルスと闘う医療従事者の助けになれば」と手渡し、清水院長より「フェイスシールドは消耗品で消費も激しく、院内感染を防ぐために心強い支援です」と感謝の気持ちを伝えました。



【病院理念・方針】

いつでも誰でも安心してかかれる中央病院
常に使命感を持ち協調して行動する中央病院

- 一、医の倫理と良心に従い、より良い医療の提供と医療安全に努めます。
- 一、患者さんの生命の尊厳と権利を尊重し、患者満足度の向上に努めます。
- 一、地域の中核病院として関係する地域医療・福祉機関との連携に努めます。
- 一、経営の健全化と職員満足度の向上に努めます。

発行：地域医療支援病院



医療法人社団
宇部興産中央病院 地域連携室

宇部市大字西岐波750番地 TEL (0836) 51-9421

印刷：重度障害者多数雇用事業所 (有)リベルタス興産